

令和 8 年度「協育による中津の子ども未来創造事業」実施計画

中津市では、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもたちを見守り育む「協育」を推進しています。子どもたちが安全・安心に過ごせる地域づくりと、豊かな未来の創造を目指した令和 8 年度の主な取り組みをご紹介します。

1. なかつスクスクプロジェクト

地域の教育力を活かし、学校現場や家庭での子育てを多角的にバックアップするプロジェクトです。

(1) 地域と歩む学校支援活動(全小・中学校)

学校からの要請に応じ、学習活動や学校行事への支援、環境整備、登下校の見守りなどを行います。各公民館の「校区ネットワーク会議」が窓口となり、地域住民との円滑な調整を進めます。

(2) 学校図書館の充実(今津小学校・今津中学校)

司書が複数校を兼務している課題に対応するため、今津小・中学校に「図書館支援員」を各 1 名配置します。児童生徒が毎日いつでも図書館を利用できる環境を整え、読書活動を推進します。

(3) 家庭教育支援活動(市内 20 カ所)

新入生の入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした「子育て講座」を実施します。家庭での教育や子育ての悩みに寄り添う場を提供します。

2. 放課後子ども教室

放課後や土曜日の時間を活用し、子どもたちに補足的な学習の機会や、感性を育む多様な体験活動を提供します。

(1) 未来創生塾(5 小学校区)

放課後の水曜日や土曜日に、小学校や公民館を会場として開催します。基礎的な補充学習をはじめ、これからの時代に必要なパソコンの操作や英語の学習に取り組みます。

(2) 小学生チャレンジ教室(20 小学校区)

同じく水曜日や土曜日の放課後に実施します。琴や茶道、伝統的な太鼓、百人一首など、地域の文化や多様な活動に触れる体験型の教室です。

(3) 学びのススメ土曜塾(10 中学校)

中学 3 年生を対象に、土曜日の生涯学習センターや公民館等で開催します。教職経験者や学習塾の講師が指導にあたり、高校受験に向けて数学と英語の学習を徹底的にサポートします。

3. 地域ぐるみで育てる連携体制

本事業を円滑かつ効果的に推進するため、市内全域で強固なネットワークを構築しています（

(1) 中学校区ネットワーク会議の設置

市内 15 の公民館に会議体を設置し、学校支援や放課後支援の具体的な内容を協議します。学校・家庭・地域団体の代表者が一堂に会し、地域全体で子どもを守る環境を作ります。

(2) コーディネーターの配置と情報共有

公民館長が務める「校区コーディネーター」と「放課後子ども教室コーディネーター」がパイプ役となり、活動計画の作成や関係者との連絡調整、予算執行を担います。コーディネーター会議や現場巡回を通じて、各地域の情報共有とサポート体制を強化しています。

(3) 中津市「協育」フォーラムの開催

年度末には、教職員や社会教育委員、学校運営協議会委員、公民館長らが集うフォーラムを開催します。各地域の優れた協働取組の発表やワークショップを行うほか、学校から推薦された地域住民への教育長表彰を行い、地域全体のモチベーションを高めています。